

ZETA スーパーカブ110 JA10 JA44 倒立単筒モノチューブ 36段調整 N2ガス封入式リヤショック 取付説明書

品番:RSZ-HS2H2~X2

アドバンス・プロ ZETA 単筒モノチューブ ガス封入式リヤショックご購入有難う御座います。
取り扱い説明書に従って、セッティング・取り付けを行ってください。

適合車種:ホンダ スーパーカブ110 JA10 JA44に適合致します。
全長:340mm 品番によりハード・ソフト・スーパーソフト仕様になります。

純正ショック取り外し方法

- ①まず安全な場所に車体を固定し、センタースタンドを掛けてください。
- ②スーパーカブ110の場合、直接ショックを交換する事ができます。
- ③タイヤをホールドしてショック下部M10(14mm頭)ナットを外し、上部M12(17mm頭)ナットを外しショックを保持してタイヤ部分を持ち上げ、ショックに掛る車両重量テンションを抜きショックを取り外して下さい。

ZETAショック取り付け方法

- ①まず取り付けるショックをご確認下さい
カブ110用ZETAショックは左右ショックの仕様が違います。

進行方向左側・・・ZETA文字が外側に向く様にセットして下さい。
付属のワッシャーですが、口径の小さい方をナット側・口径の大きな方を車体側に使用して下さい。
枚数を入れ過ぎますと、ナットの噛み込み少なくなる為、必要最小限の枚数にて決定して下さい。

進行方向右側・・・ZETA文字が外側表示・ガスニップルが後方を向きます。
右側は純正の既存のワッシャーを使用して下さい。

ショック上部M12ボルト・ナット・・・35N・m 下部M10ナット締め付けトルク・・・24.5N・m

- ②この時点で、セッティングにてスプリングイニシャル調整を行ってください。
沈みこみ量の調整は、必ずゆっくり体重(1G)をかけて1G調整をして下さい。
沈み込み量は、1.5cm~2cm上下と別紙保証書に記載されていますが、取り付け車両の前後バランスにより決定します。
フロントフォークの沈み込み量を確認して頂きこの沈み込み量に対し、リヤのZETAの1Gを決定していきます。
まず前後同量を基本に、狙うステア特性に合わせ増減してください。(決して1.5~2cmが正解ではありません。)
イニシャル調整になりますが、センタースタンドを掛け、タイヤが浮いた状態にてZETAショックより車重を抜いた状態に
スプリングを回してあげると、イニシャル調整が行えます。(当社ZETAは上下シートのロックは必要有りません。)
後は実走行において、好みに合わせイニシャル量の増減を調整してください。

注)乗り心地を追求し柔らかくし過ぎるとショックが底突きを起し、オイル漏れ・バルブ損傷などトラブルの原因になります
シャフト・バンブラバーをチェックして頂き、底突きしない様にイニシャルをセッティングして下さい。

- ④調整が完了したら、取り外した順序に従って順序良く取り付けて行ってください。

減衰力セッティング要領

- ①スプリングイニシャル調整が終了しましたら、減衰力調整を実走行において調整してください。
- ②減衰力はソフト~ハードまで36段調整する事が出来ます。
- ③この36段調整は、伸び側を中心に調整出来るタイプですので、実走行において最適と思う処にセッティングしてください。

ショックアブソーバーの日常点検

- ①ピストンロッドは常に綺麗に保ち、砂・ダスト等を取り除き常に綺麗にしてください。(オイル漏れの原因になります)
- ②ダスティな路面を走行した後はイニシャルリング部分・ピストンロッドの清掃をして下さい。
- ③定期走行距離において、上部・下部のボルトの締め付けトルクの確認をして下さい。

保証規定

- ①ショックアブソーバ本体に分解や改造を施した場合は保証期間内でも保証の対象にはなりませんので注意してください。
- ②日常点検を怠り発生した破損事故及びそれに伴う身体障害等については一切の責任を負いません
- ③1年以内であっても、外傷は保証の対象になりません。
- ④保証対象はストリート走行による通常使用において、日常点検を怠らず行っている場合においてのオイル漏れが対象となります。保証対象は、ご購入該当商品のみとなります。
- ⑤サーキット走行等による過度な負荷のかかる使用条件、車両本体をロングホイールベース等(角度変更等)に改造をしての使用の場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。



CAUTION

高圧ガスが封入されていますので、絶対に分解しないで下さい。
ガス式ショック本体の廃却は危険が伴いますので、充分注意してください。
火中に投じないこと。
火に近づけたり、溶接類の炎を近づけないこと。
工具でピストンロッドを掴んだり、取付中に傷を付けたり、落下させたり、乱暴な扱いは絶対に避けて下さい。
ショックアブソーバの破損に繋がります。
単筒式ショックは、外部より過度の負荷(事故等により)が掛った場合ショックシリンダーが変形する場合があります。
単筒式ですので、シリンダーが変形すると内部のフリーピストン、ロッドピストンの動きが通常の動きが出来なくなります。

※仕様および外観は、予告無く変更する場合があります。

大阪市旭区高殿4-20-37
アドバンス・プロ株式会社
TEL 06-5956-0061
FAX 06-6956-0062